

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|--------------|
| 事業所番号 | 2372101440 |
| 事業所名 | グループホーム燦ふくおか |

【重点項目への取組状況】

| | | |
|-----------|--|----|
| 重点項目 ① | 事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) | 評価 |
| | 運営推進会議には、地域の総代をはじめ地域関係者が多く参加している。地域に向けて発行されている「燦ふくおこだより」と共に、意見交換や情報共有の場として機能している。 | ○ |
| 重点項目 ② | 運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) | 評価 |
| | 運営推進会議では、毎回利用者の状態や運営状況などの報告を行い、会議メンバーからの意見を取り入れてサービス向上に活かしている。会議では、目標達成計画の進捗状況も報告されている。 | ○ |
| 重点項目 ③ | 市町村との連携 (外部評価項目: 4) | 評価 |
| | 運営推進会議には、市・長寿課の担当者と地域包括支援センターの職員とが、年単位で担当を決めて出席している。今年度は昨年に引き続いて地域包括支援センターの職員が担当しており、顔見知りの関係ができています。 | ○ |
| 重点項目 ④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) | 評価 |
| | 運営推進会議には家族の参加もあるが、欠席する家族の方が圧倒的に多い。都合によって欠席した家族の許には、後日運営推進会議でのやり取りを詳細に伝える「議事録」が配布される。ホーム便り「グループホーム燦ふくおこだより」が毎月発行され、ホームの状況を家族に伝えている。 | ○ |
| 重点項目 ⑤ | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | ○ |
| | ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 | ○ |
| | ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | ○ |
| 総合評価 | | ○ |

【過去の軽減要件確認状況】

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
| 総合評価 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|-----------------------|---|
| 2. 事業所と地域のつきあい | (例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 3. 運営推進会議を活かした取り組み | (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。 |
| 4. 市町村との連携 | (例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。 |

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。